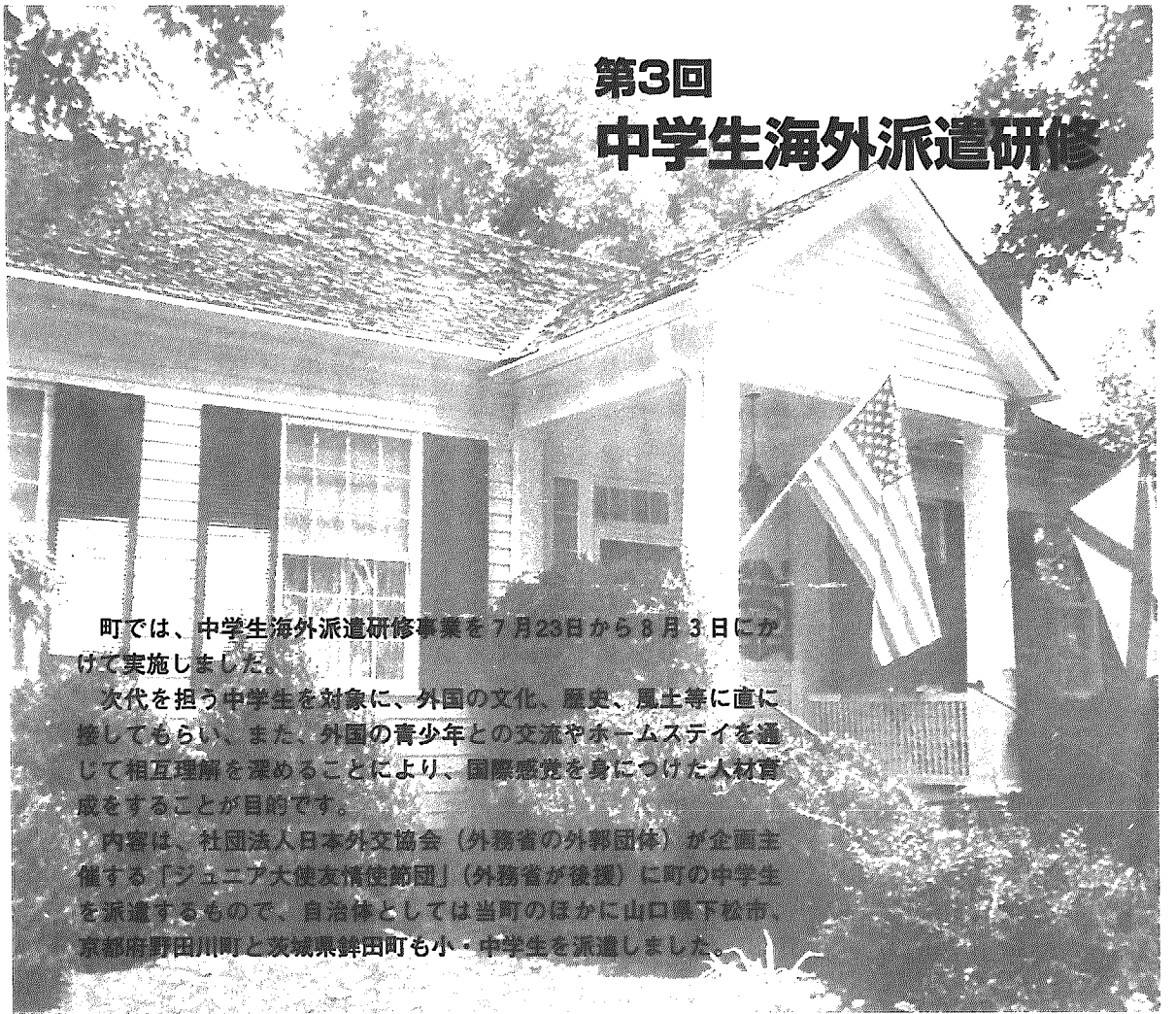


第3回 中学生海外派遣研修



町では、中学生海外派遣研修事業を7月23日から8月3日にかけて実施しました。

次代を担う中学生を対象に、外国の文化、歴史、風土等に直接触れ、また、外国の青少年との交流やホームステイを通じて相互理解を深めることにより、国際感覚を身につけた人材育成をすることが目的です。

内容は、社団法人日本外交協会（外務省の外郭団体）が企画主催する「ジュニア大使友情使節団」（外務省が後援）に町の中学生を派遣するもので、自治体としては当町のほかに山口県下松市、京都府野田川町と茨城県鉾田町も小・中学生を派遣しました。

中学生海外派遣研修りポート①

今月号から第3回中学生海外派遣研修に参加された方々の報告書を紹介いたします。

参加者6人の視察、研修の成果をご覧ください。

研修の日々を振りかえる
大滝 弥生（ときめき東1）

私がジュニア大使として過ごした日々を振りかえり、ここに記します。

七月二十三日、この日はまだ日本です。東京のホテルでの事前研修。ここでは、アメリカで役立つ英語ワンプイントレッスンや国際マナーとエチケット、食事の仕方など色々ためになることを学びました。

二十四日、成田空港から三十分のDLGSで出国しました。機内も初めて、雲の上も初めてで心もとんでいるようでした。片方の窓から見える空は夕やけなのに、もう片方の窓から見える空は真っ暗という不思議な景色を見ることができ、また、アメリカ大陸が見えた時はついに来たぞと思いました。しかし、着陸の際に気圧の変化のせいなのか、耳がおしつぶされそうに痛かったのがつらかったです。



ホームステイ先にて（右端が大滝さん）

になった他県の人達やお世話になった先生方との別れが悲しく、涙があふれてきました。

このような毎日の中で大きく実感したことは、アメリカで出会った人、アメリカの人はみんな優しくなれたということ。日本とは少し違った積極的な優しさと言ったらいいでしょうか。私もそういう優しさを持つて人に接することができるようになりたいです。

また、アメリカの人達と少し会話ができ、仲良くなれて嬉しかったです。でも、思うように聞き取れなかったり、話せなかったりして、やっかいな気がしました。だから、これからもっと英語を勉強し、スラスラ話したいです。

このような貴重な体験ができたのも、町長さんをはじめとする町の方々、両親のおかげだと思います。ありがとうございます。

アメリカ研修を体験して

寺井 遙（下山田）

私は、今回のアメリカ研修を体験してすばらしい思い出がたくさんできました。まず一つ目は、たくさんす

三日、解団式。旅行で大親友

二十五日、とても楽しみにしていたNASAマーシャル宇宙飛行センターの見学。実際に宇宙に行ったロケットの実物大の模型があり、エンジンだけでも私の家がすっぽり入るくらい大きなもので、とても驚きました。

もう一つの見学場所のコンステイテューション・ホール・ピレッジでは昔の台所、トイレ、馬小屋の様子を見ることができました。しかもそこは、初めて、「Please take a picture with me」という英語が通じた思い出深い所です。

二十六日、かつてアメリカ人のセロキー族の隠れ家だった出ず鍾乳石がたくさんありました。洞窟内には小さな湖がたくさんあり、水面が動かないため天井が映し出され、まるでそこに鍾乳石があるかのように思えました。野外活動では、汚染されていない川を見たり、大きな岩にみんなで写真撮影をしました。

二十七日、ヘレン・ケラーの生家を見学しました。なかなか大きな家で、門から家までの距離が二百メートルくらいはあったと思います。ヘレン・ケラーが初めて「Water」という単語を覚えた井戸も見ることができ

ました。ヘレン・ケラーは日本にも訪れたことがあるというところを、ここで初めて知りました。次にブルースの父と呼ばれるM.C.ハンディーの家に行きました。ハンディーが実際に使用したピアノでみんなで合唱させていただきました。

その後アセンス市消防署に行き、消防車の中に入ったりしました。学校の先生から聞いた話では、いまだに黒人への差別が少し残っていると聞いたけれど、ここでは黒人の方も白人と差別なく働いている様に思えました。

あつたホームステイでしたが、シャロンは車に乗るなりハイテンションで、「Let's go to my home」と元気に言ってくれました。その一言と笑顔で私の心も盛り上がりました。

二十九日、シャロンが計画してくれていた買い物に行きました。ホストファミリーは私達をいつも気にかけて、「どこに行きたい？」とか「疲れてない？」と声をかけてくれました。夜に家族とその友達の子供達とピーズでアクセサリーを作りました。お礼に私達も折り紙で鶴の作り方を教えて、いっしょに楽しい夜を過ごしました。

三十日、日曜日だったので、昨夜プレゼントしてくれた聖書を持って教会に行きました。教会では、歌を歌ったり、ブドウ酒を飲んだり、話を聞いたりしました。家に戻り、家にあるブルーとトランプリンで遊びました。豪華ですよ。

三十一日、ホストファミリーとのお別れ。私は別れがつかなくて、アメリカン・マザーに抱き